



有松まちづくりの会総会 (5月15日) 於:絞会館

令和8年度総会が、新緑区長鈴木康生様はじめ7名のご来賓のご参列をいただき、出席者45名(委任状54通)で開催されました。冒頭、中濱豊会長より「昨年イエローカードの日本遺産も名古屋市・地元のご努力で認定継続。今年は新たなスタートの年です。新しい住民が新築家屋を建てたり、古民家を活用しての宿泊施設が数年後にはオープンしたりするなど有松のまちが大きく変わろうとする時期にきています。有松がより賑わうよう、皆様のお力添えよろしくお祈いします」との挨拶がありました。



次に来賓を代表して鈴木区長が「3月まで本庁で観光行政に携わってきました。有松エリアで仕事ができるのは、ご縁でもあり非常にうれしくもあります。名古屋観光では、名古屋城と共に熱田・有松・桶狭間も重要エリア。アジア大会・アジアパラ大会や大河ドラマ豊臣兄弟で注目を集めるエリアでもあります。官民一体となって有松を盛り上げていきたいです」と、仰っていました。



中濱豊会長

鈴木区長

根尾議長の進行で審議。下記の2議案は、満場の拍手で承認されました。

- 第1号議案 令和7年度 事業報告並びに収支決算報告・監査報告の承認について
- 第2号議案 令和8年度 事業計画並びに収支予算案の承認について

有松絞りの町並みストリートライブ サクソ侍 in 有松 (5月15日)

総会終了後の15:30から、山与遊歩道中濱家住宅裏門付近で演奏会が行われました。名古屋観光特使でもあるサクソ侍が「愛燦燦」など情感あふれる曲10曲をサクソを変えながら奏でていました。300人程の観客が45分間、私語を発することもなく聴き入っていたのが印象的でした。有松とサクソ、合っていたね、また聴きたいね。



NPOコンソーシアム有松総会 (5月15日) 於:竹田家三番蔵

12年目を迎えたNPOコンソーシアム有松の総会が開かれた。中村理事長より「まちなみ美術館」や「絞りと瓦 灯りストリート」「有松絞伝統文化教室」など文化的な行事等の有松での継続開催の協力依頼の挨拶がありました。議事の令和7年度活動報告/収支決算報告、令和8年度活動計画/収支予算案については、全会一致で承認されました。審議後、間もなく始まる有松未来創造株式会社による古民家利活用事業について、今後も皆で注視していく旨、提案がありました。



令和8年度第1回有松日本遺産推進協議会開かる (4月23日)

令和8年度の事業計画と収支予算案が提案され、いずれも全会一致で承認されました。

昨年度までの文化庁のご指摘を受け①観光マーケティング調査等、②日本遺産ウェブサイトのリニューアル、③文化資源を活かした集約型イベントの開催、④観光客受入れ環境の充実、⑤地域と連携した取り組みを柱に、後日実施されるプロポーザルで決定される事業者と地元有松とが協同して日本遺産事業に取り組んで行くことを確認しました。また、地元役員はそれぞれの立場からの思いの丈を発言し、皆の力を併せて事業を行っていかうという姿勢が示されました。

日本遺産に関する第2回勉強会を6月30日(火)18:00より絞会館2階大会議室で開催することとしました。

《第2回勉強会のお知らせ》講師は、地域連携DMO「株式会社まちづくり小浜」の御子柴北斗さん

内容：日本遺産「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～」に

おける地域DMOの取り組み

参加方法：事前申し込み不要(当日、直接会場にお越しください)

※小浜市は全国で唯一「日本遺産プレミアム」に選定されています。「道の駅若狭おばま」や「小浜町家ステイ」の運営をはじめ、その中核的な役割を果たしている地域DMOの取り組みについてお話をうかがいます。

有松町家ライブ 新緑の奏 ヨーロッパの風を有松へ (5月16日) 於:棚橋家住宅

ハンガリーのリスト音楽院で学んだ2人(チェロ山田真吾・ピアノ関野直樹)によるクラシック演奏会。暑い中、会場は満員の40人で埋めつくされていた。冒頭、企画された熊田靖子さんの話が記憶に残る。「町家ライブは7年目を迎えるが、それ以前にここでザブトンコンサート(主催:佐藤るみさん)が行われていた。それは故棚橋龍三氏が学生時代チェロ奏者だったことに由来する」そう。演奏が有松の町並みに合っているばかりでなく、有松が繋いできた伝統文化に奥深さを与えているようでもある。



次回予告 6月15日(日) 15:30開演 アンデスの風～心に響く音色～ 出演:Grupo SAYA Andes 於:寿限無茶屋

桜花学園学生 有松で「日本文化」研修 (5月11日)

今年も「地域協力演習」(全学部対象の選択授業)で学生44名が有松にやってきました。8班に分かれて、栽松庵(竹田家住宅)・岡家住宅・山車会館を有松あなびとの会の案内でめぐりました。一般の散策会と違い、有松で醸し出される日本文化を感じていただけるよう企画されています。茶室では、竹田さとみさんのご指導で茶室での作法や掛け軸などの紹介がありました。岡家では建物のつくりや有松絞りの反物を直に手にしたり、山車会館では布袋車に見入っていました。



栽松庵での抹茶体験の様子

ルポ 桶狭間古戦場まつり (5月17日)

長福寺

記者が取材に桶狭間古戦場公園に着いたのが10時過ぎ。長福寺では「戦没者慰霊供養」が厳かに始められていた。駐車場に「屋台村」が開かれ、お店には多くの子ども達が集っていた。急ぎ公園に戻り、銅像前のステージエリアに目をやる。地元で有名な"おやじ唄うたい"青山仁司さんの声が耳に届く。「ステージ」の開幕に相応しい。10時半になると桶狭間幼稚園園児の発表。年少さんから。公園には多くの園児の保護者さん、動画撮影に忙しい。この場所でも11時から「戦没者慰霊供養」が行われた。

「甲冑試着体験」や「輪ゴム火縄銃」も人気だが、大人の人気は「史跡めぐりツアー」。ブラタモリ効果もあり、次々と見学希望者が訪れていた。

記者は昼前に取材を終えたが、例年通り18時半から「桶狭間太鼓演奏」、そして「万灯会」が開催された。



春は散策!

季節のいい時期にと、有松に関わる散策会が目白押しです。そのいくつかを覗いてみました。

緑区役所主催散策会「桶狭間合戦を歩く」(5月14日)

"豊臣兄弟"そして"ブラタモリ"(NHK総合)の影響でしょうか、桶狭間・大高に多くの人々が訪れている。そして有松にも。タイムリーな企画のこの散策会(4/30桶狭間・5/7鳴海・5/14有松)は信長進軍ルートをとる旅。30人程の参加者を得て行われた。中島砦から義元本陣までのルートは「信長公記」に書かれていないが、有松には信長軍が通過したという伝承がある。5/14有松での散策は、長坂道を鎌研橋からたどり高根山にも登った。



高根山のようす

緑生涯学習センター散策会「緑区ぶらり歩き」(5月19日)

東海道とその周辺をたどる散策会が行われた。5月19日と26日は有松地域で実施。初日は名鉄中京競馬場前駅から絞会館まで。駅を出てすぐに国道1号線に沿って街道が残る。有松の町並みの中で見る風景とは趣が違ふ。街道周辺をたどることは有松への理解をより深めることにつながるようだ。写真は昭和10年の記録動画。手越川が藍染川と呼ばれるゆえとなった場所の一つ。川沿いを歩くとそれらしき場所に出会った。



かつての洗浄場

歴史まちづくりニュース 令和8年5月号 から

- 「旧山田薬局」の活用に向けた改修工事が夏頃よりスタート
「有松未来創造(株)」が改修及び活用を行う古民家の第1号物件として、カフェ併設の宿泊施設として再生。令和9年秋頃オープンを目指す。
- 岡家住宅修理整備基本計画について、今後のスケジュール
令和8年度～9年度 実施設計・展示基本計画
令和10年度以降 修理工事・整備工事 ※令和9年度より先行工事
- 町並み保存地区内で工事や看板の設置等をお考えの際はご相談を！
具体的な設計に入る前のできるだけ早い段階でご相談ください。
まずは町内会長または歴史まちづくり推進課までご連絡を。

ある日の岡家住宅

What country are you from?
と話すと、オランダからと言われ、オランダに来たことある？と逆に聞かれ、ないよ。でも行ってみたい！と伝える。
笑顔で…なんか楽しいですね。短い時間でしたが、私の適当な英語でも、心が通じた感じがした。岡家で国際親善！

有松に魅せられて ⑦

変わっていく有松を近くで見て 榊原あかね (右の写真)

子どもの頃、絞りまつりでハンカチを買い、天満社でお参りをしたりご飴を食べた。

当たり前にあった有松にもう一步足を踏み入れたきっかけは、アリマツマーケットの初開催。家族連れで賑わう様子にワクワクし、次回からボランティアとして参加するようになった。有松絞りまつりにも関わるようになり、縁あって今では時折り山上商店の直営店に立っている。

改めて感じた東海道を歩く人々の何気ない日常、まちの人の誇り。受け継がれた伝統を守りながらも新しい店ができ、まちは常に変化している。400年以上の歴史ではほんの一部に過ぎないが、このまちが今に続くのは、先人たちが時代に合わせて柔軟に歩んできたからだろう。

有松を訪れた人とおしゃべりをするのが楽しい。「絞りってすごいですね」なんて驚かれるとくすぐたくなる。これから有松はどのように変わっていくのだろう。その風景を近くで見守り、あわよくばその一端を担えたら嬉しい。



cucuriiにて

一里塚清掃 (5月5日)

ご存知でしょうか？有松の一里塚は1924(大正13)年に民有地となり、取り壊されて無くなりました。その後、2012(平成24)年に国道302号が出来た際に地元の要望で復元されました。言わば、有松の西の玄関口。今年も有松あないびとの会の皆さんがおもてなしに相応しい空間にすべく、全てきれいに除草清掃をしてくださいました。ただ、榎の根元の笹の生育が心配です。



ゴミ袋が20個近くも

有松あないびとの会研修旅行(4月21日)

今年の1月20日に足助小学校の全校児童64名が有松を訪れ、絞り体験や町並み見学をしました。これを契機に町並み案内をしたあないびとの会は、研修旅行で足助を訪問。足助と有松は、町並み保存で二人三脚で歩んできたからです。訪問して、高齢化と少子化の中で早くから取り組みがなされたことや将来への問題山積に気づかされました。



※「有松と足助のつながり(会報94号)」参照

催事・行事予定

- 6月6日(土)7日(日) 9:00 第42回有松絞りまつり 有松東海道一円
6月15日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン
6月22日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン
6月28日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
15:00 第20回寿限無茶屋で上方落語 九雀亭 寿限無茶屋
6月30日(火) 18:00 第2回有松日本遺産勉強会 校会館2階大会議室

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。

《編集後記》

ここ半年「有松に魅せられて」を連載中。絞りなど伝統工芸だけでなく人のやさしさを挙げる方も少なくない。納得！

まちの風景



軒下の石